

製品名: FMO3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86667**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:60 kDa; Observed MW:56 kDa

抗原情報

遺伝子名	FMO3
別名	TMAU; FMOII; dJ127D3.1
遺伝子 ID	2328
SwissProt ID	P31513
免疫原	ヒト FMO3 の合成ペプチド

背景

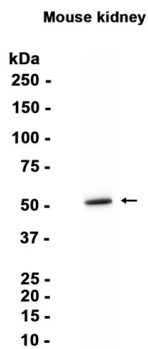
フラビン含有モノオキシゲナーゼ（FMO）は、治療薬、食物由来化合物、農薬、その他の外来化合物など、窒素、硫黄、リンを含む

様々な生体異物の NADPH 依存性酸素化を触媒する重要な薬物代謝酵素群です。ヒト FMO 遺伝子ファミリーは、5つの遺伝子と複数の擬似遺伝子で構成されています。FMO メンバーは、発達および組織特異的な明確な発現パターンを示します。成人の肝臓で発現する主要な FMO である FMO3 遺伝子の発現は、個人間で最大 20 倍も変動する可能性があります。FMO3 発現レベルのこの個人差は、生体異物の代謝速度に大きな影響を与える可能性があり、製薬業界にとって大きな関心事となっています。この膜貫通タンパク質は、多くの組織の小胞体に局在します。この遺伝子の選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。この遺伝子の変異は、トリメチルアミン尿症 (TMAu) を引き起こします。この疾患は、代謝されないトリメチルアミンの蓄積と排泄、そして独特の体臭を特徴とします。健康な人では、トリメチルアミンは主に無臭のトリメチルアミン N-オキシドに変換されます。[RefSeq 提供、2016 年 1 月]

研究分野

-

画像データ



FMO3 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス腎臓組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。